

# 福賀ニューズ

福岡貿易会情報誌

## 新年あけましておめでとうございます



公益社団法人 福岡貿易会  
会長 土屋 直知



福岡市長  
高島 宗一郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃より会の運営と発展にご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

一昨年来続く新型コロナウイルス感染症の猛威も、国内では緊急事態宣言がすべて解除され、まだまだ影響は残るものの、徐々にではありますが人の流れも企業活動も再び活力を取り戻しつつあります。コロナ禍によって暗く沈んだ世相にも、ようやく明るい兆しが見え始めたようであり、今年はコロナ禍から脱する節目の年となりそうな気配です。

今後に目を転じますと、やはり一番の注目は、元日付で発効した「地域的な包括的経済連携 (RCEP)」です。全参加国がそろると、世界のGDP、貿易総額及び人口の約3割、我が国の貿易総額のうち約5割を占めることになる巨大な経済連携協定になり、市場アクセスの改善や知的財産等のルールの整備により、貿易・投資の促進やサプライチェーンの効率化が期待されます。

また、脱炭素化の世界的な潮流は自動車業界のEVシフトを加速し、DX (デジタルトランスフォーメーション) 化の波は脱ハンコ化やテレワーク、ICTやAIの普及をもたらすなど、いずれも大きな変革に結び付いています。

こうした様々な動きに対応するべく、当会では総会や年末の交流会、会員による勉強会「福賀ビジネスラボ」の開催など、会員間交流を通じて情報交換を活発化させるための取り組みを進めてまいります。会員の皆様方には、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとってより一層の飛躍・発展の年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます。

福岡貿易会におかれましては、日ごろより福岡市の貿易振興及び地域経済の発展に多大なるご貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響が続く一年となりましたが、市民や事業者のみなさんがポジティブなマインドを持てる、そんな2022年になるよう、福岡市も新たなチャレンジを行っていきます。

まずは、世界水泳選手権がいろいろ福岡で開催されます。日本や世界が未来に踏み出すきっかけとなるよう、全力で大会を成功へと導きます。また、2023年に開催されるG7サミットの誘致にも名乗りを上げました。これから2年間で日本も大きく変化しなければなりません。その変化の象徴となるのが、福岡市だと自負しています。

街づくりに関しては、天神ビッグバン、博多コネクティッドにより、今後、ビルの建替えが目に見える形で一気に進みます。そこに高付加価値な企業が入居し、新たな雇用やビジネスが生まれることで、福岡市は優秀な人材や若者が自己実現でき、夢を叶えることのできる街になっていきます。

福岡市は、これまでも「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に向けて取り組んできましたが、今後も世界から尊敬され、選ばれる都市であり続けるため、「人」、「環境」、「都市活力」、それぞれの要素をさらに高い次元で調和させていきたいと考えておりますので、福岡貿易会の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



## 令和3年度 福岡貿易会 年末講演会 「講談への誘い」開催

令和3年12月7日（火）、西鉄グランドホテル「プレジール」にて、令和3年度 福岡貿易会 年末講演会「講談への誘い～真説『菅原道真伝』～」を開催しました。緊急事態宣言も解除され、コロナ禍もようやく落ち着いてきたところでしたが、果たして参加者は集まってくれるのだろうかかと直前まで危惧しておりました。ところが、講師のネームバリューもあってか、ふたを開けてみれば会場はほぼ満員の状態で、一般やオンライン視聴も含めて総勢95名の皆さまにご参加いただくことができました。

ご講演では、日本の伝統芸能である講談の世界をご紹介いただいたあと、太宰府天満宮に残る記録を参照しながら書き起こされたという「真説『菅原道真伝』」をご披露いただきました。

また、神田様には講演会後の会員交流会にもご出席いただき、土屋会長をはじめとした会員の皆さまとの楽しいひとときをお過ごしいただきました。



《講師》  
講談師 神田 紅 様

【講師】  
講談師 神田 紅 師匠

### 【略 歴】

福岡市出身、福岡県立修猷館高校卒、早稲田大学商学部中退  
昭和54年二代目神田山陽師入門、平成元年真打昇進、旧本牧亭での幕引き真打披露  
平成14年紅一門を旗揚げ、平成28年日本講談協会会長に就任  
舞台や映画、TV、ラジオ、雑誌などのメディアにも多数出演  
「神田紅 女の独り立ち」など著書多数



## 令和3年度 福岡貿易会 年末会員交流会 開催

12月7日（火）夕方6時から年末講演会に引き続きまして、恒例の「年末会員交流会」を開催いたしました。昨年度はコロナ禍のために開催できませんでしたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に細心の注意を払いながら、ようやく開催にこぎつけることができました。

福岡県下での緊急事態宣言が解除されてまだ日も浅く、また南アフリカやヨーロッパ、おとなり韓国では新規感染者数が再び拡大傾向にあるとのことでしたが、ふたを開けてみれば総勢75名もの方々にご参加いただくことができました。開催前には不安だらけだった2年ぶりの交流会も、おかげさまで盛会のうちに終えることができました。当日ご参加いただきました皆さま並びにご協力いただきました関係各位に、心より御礼申し上げます。



来賓紹介



新会員紹介



## 在日カザフスタン共和国大使館ご一行来福



博多港ふ頭(株)本社前にて  
右から4人目：エシムベコフ大使閣下

昨年12月23日（木）に、エシムベコフ サープル大使閣下をはじめとする在日カザフスタン共和国大使館ご一行が、博多港視察のために来福され、会員企業である博多港ふ頭(株)のご協力の下、土屋会長をはじめ当会役員6名でお迎えしました。

今回来福されたご一行は、エシムベコフ サープル大使閣下、クルマンセイト バトルハン公使及び元カザフスタン鉄道アドバイザーの岡本 剛氏の3名で、お迎えしたのは、当会から土屋会長、高原副会長、龍造寺副会長、津田副会長、甲斐特別顧問及び平塚専務の6名、博多港ふ頭(株)から中園社長、二宮取締役及び中村総務企画部長の3名です。

当日は、香椎浜パークポートにある博多港ふ頭(株)本社でのご挨拶並びに映像を交えたブリーフィングの後、近接するアイランドシティに移動し、IT技術を積極的に活用した高度な物流情報システムを備えた最新鋭のコンテナターミナルをご覧いただきました。夕刻の積荷作業中ということで安全のため車中からの視察となりましたが、案内役の二宮取締役の説明に対し矢継ぎ早にご質問になったり、同乗した土屋会長と活発に意見交換されたりと、とても熱心に取り組んでおられました。



ブリーフィングの様子  
中央：エシムベコフ大使閣下



積荷作業中の様子

中央アジアに位置するカザフスタン共和国と福岡市とはおよそ5,400km離れていますが、博多港は両国間の物流の起点となる可能性を秘めています。博多港から出荷して中国で陸揚げし、鉄道で中国大陸を横断して中央アジアに位置するカザフスタンに入り、さらに西進して欧州へと続く、中国政府が掲げる一帯一路政策にも重要に絡む壮大な物流網が期待されます。今回のご一行の来福が、その端緒となることを切に願う次第です。

# 「新卒で挑んだタイ就職 ～人と違うグローバルなキャリアを目指して～」

Personnel Consultant Manpower Co., Ltd.  
Manager 小林 愛可



## ■どうしてタイ？交換留学を経て受けた刺激

私にとって初のタイは大学3年の冬から1年間の交換留学でした。年中温暖で人も大らかで優しく、「マイペンライ～（大丈夫、大丈夫～!）」といった国民性の温かさを感じました。「微笑みの国」と呼ばれるタイで留学生として生活し、そこで出会う人々がとても好きだと直感的に感じていました。日本人に関して、タイには現在約8万人の在留邦人がいて、留学中に会った方々は、駐在員として選ばれて来ている方、タイが好きで自ら現地採用で来ている方、タイで自分のビジネスをしている方など、色んな方が居ました。でも皆さん共通しているのは、日本を飛び出すくらいアクティブで、エネルギーに満ちた行動力のある方々という点。そんな方々にたくさん出会い刺激を受け、「私もそうなりたい、この素敵な方々の側で



仕事してみたい」と思うようになりました。元々、海外勤務には興味を持っていたので、「挑戦するなら早いうちに、自分の選択で心置きなく行くことができる今行きたい」と思いタイ就職を決意しました。

## ■いろんな意見に揺れ動いた就職活動

しかしそんな中で、「最初は日本で働いた方が良いのでは？」というアドバイスや「絶対まずは日本が良いって!」という意見もありました。交換留学をした同期や友人たちについても、まずは日本で就職する人が多く、まだまだ異例なこの選択は、時に不安で揺れ動くこともありました。しかし、自分の意思で決めなきゃ後悔するだろうと悟り、最終的には「自分の人生なんだから、自分で決めよう。」と決意を固めました。

## ■コロナに翻弄された新卒1年目と福岡でのありたいご縁と経験

タイで就職活動を2020年1月末に終え、卒業式から2日後のフライトでタイへ渡航を予定していました。就活を終えたころ、「なんか中国で変なウイルスが出たらしいよ」と耳に挟んだニュースが、まさかこんな大事になるとは思いもよみませんでした。乗る予定の飛行機がついにキャンセルになり、「渡航できない」まさかの状況に啞然としました。そんな中、何とタイから弊社の小田原社長が「タイに来られるようになるまで、この会社で働かせてもらってください」と話を進めてくださり、福岡で社会人生活をスタートすることになりました。社長ご自身も大変な状況の最中に、私の事にまで気を配り準備していただいたこと、そのおかげで福岡での沢山の経験とご縁に繋がりました。本当に感謝しています。このような経緯で、福岡貿易会の隣にあるユウシステムの入江社長のもとでお世話になりました。入江さんを起点としながら、沢山の方々とのご縁、そして就業経験をさせていただき、「福岡にはこんなに素敵なビジネスマンの方々がいるのか!」とますます福岡への愛着が強まりました。ちょっぴり離れ難くもなりながら、成長していつか皆さんにお会いできるように頑張るぞ、と決意を新たに、ついに1年越しの2021年4月にタイへ渡航することが出来ました。

福岡にいた一年で得たものはご縁や経験のみに留まらず、お声がけいただいたことをきっかけに福岡貿易会主催の「ゼロから始める中国語講座」を受講しました。本当は1年目のみの予定でしたが、毎週の講座がとても面白く、少しずつ中国語がわかるようになることが楽しくて、渡航後もオンラインでタイから2年目講座に参加しました。タイにおいても中国系企業が増加傾向にあるので、いつかどこかで役立てたいと思います。



いつも笑顔で

## ■タイに渡航して半年、異国の地&新規事業という手探りの日々

10泊のホテル隔離生活からスタートしたタイ生活。留学で来たことのある土地に帰ってきたこと、ホテルの中にいながらも、東南アジアらしいスコールが降るだけで嬉しさがこみ上げるような気持ちでした。隔離を終えてタイでの生活と勤務がようやくスタート。しかし、タイでもコロナの状況はあまり良くなく、セブンイレブンでさえも夜8時に閉まるような生活が続きました。やっと3年前の留学当時からお世話になった方々や友人に会えると思っていたのですが、外食はできず、人に会うことも憚られる時期だったので「せっかく近くに来ているのに～」ともどかしい日々でした。しかし、裏を返せばタイに来たばかりで仕事もスタートし、日々疲れも溜まっていたので逆に規則正しく身体を順応させることができたことはラッキーでした。

仕事に関しては、タイで28年間、タイ国内での人材紹介を行ってきた弊社にとっての新規事業となる「日本への人材紹介」を担当させてもらっています。タイ人の方で、日本で働きたい求職者と、日本にある外国人採用をしたい企業を結ぶ、まさに「日本とタイの架け橋」となるようなコーディネートを行う仕事です。大卒レベルの高度人材から、技能実習生まで対応します。特に技能実習に関しては昨年2月に認定送出機関のライセンスを政府からもらい、まさに弊社としてスタートしたばかりの事業です。社内に技能実習に関する前例はなく、複雑な手続きや情報収集、セミナーなどに積極的に参加し、日々勉強しています。「人の人生に関わる大きな仕事をしている」という自覚を持ち、関わる全ての人が幸せになれることを1番大切にして精進しています。渡航などに関しては、コロナの影響を受けていますがその中で今できることをコツコツ積み上げていければと思います。

## ■実際にタイで働いてみて

タイへ渡航して9か月、これまで400人以上のタイ人求職者の面接をしてきました。主に英語を使用しています。社内会話の面ではまだまだルー大柴さん状態です。日々タイ語英語日本語を駆使しながら何とかうまくやっています。「伝えようとする気持ち」が一番大事なのかもしれないです。時にはジェスチャーを用いたり、絵を描いたりし

ながら説明します。タイ人スタッフさん達はみんな優しく、一緒に理解しようとしてくれることもありがたいです。

社内では最初からマネージャー職としてチームを任されており、新規事業担当ということで、新卒のタイ人一名をチームメンバーに持ちます。ある意味、日本では20代前半でマネジメント経験を持つことはなかなか無いので、その面でも貴重な経験だと捉えています。マネジメントの大変さに言語の苦労も加わるため日々修行ですが、この経験はきっと自分を成長させてくれていると思います。チームのタイ人スタッフは日本のアニメが好き、ということで昼食時にはアニメの話や趣味の話を楽しみながら過ごしています。誕生日にはわざわざ退勤後にプレゼントを買って戻って来てくれた時は嬉しかったです。



## ■「自分の選んだ道を正解」にするために

若くしていきなり海外でのキャリアに挑戦し、もちろん不安もありますが、自分で選んだ選択に自信が持てるようにするのは自分次第だと思っています。人材紹介という、人の人生に関わるお仕事なので、誠意と心を込めてしっかり成功事例を積み上げていきます。大好きな福岡・日本とタイの架け橋を目指し、関わる人々が幸せになるために頑張ります。

若輩者の未熟かつ稚拙な文章を最後まで読んでいただきありがとうございました。今後も海外の地で邁進します。日本での外国人採用にご興味がありましたら、ぜひお気軽にご連絡くださいませ。



## 《寄稿者》

小林 愛可 氏  
Personnel Consultant  
Manpower Co., Ltd.  
Manager



## 特別寄稿②

# 「新たなリスクコントロールの必要性 ～コロナ禍での国際取引・貿易～」

明倫国際法律事務所 代表弁護士 田中 雅敏

### ■コロナ禍の国際物流の乱れと取引上のリスク

コロナ禍においては、国際物流に大きな乱れが発生しました。例えば、マスクなどの医療・衛生関連商品については、発生当初は各国の方針により円滑に通関を通らないといった問題が発生した一方、その後は逆に医療・衛生関連商品への規制を一時的に緩和する措置などが取られている国も増加しました。このような通関での政治的、政策的な理由による混乱が多く見られた他、港湾作業の停滞やコンテナの不足による国際物流の停滞と運賃の高騰、さらには国境を超えた人の移動が極端に制限されたことに伴う現地工場等の品質管理や検品の困難などに起因するトラブルの多発など、国際貿易と国際物流にとっては、多難な状況が続いています。

私たち明倫国際法律事務所に寄せられる相談についても、「コロナ禍」を理由とする履行の遅延や不能、取引相手との連絡途絶等に関する案件が多くあります。国際貿易・物流に関連するビジネスを展開する企業にとっては、こうした問題にどう対応するか、しっかりと事前準備と検討が不可欠となっています。

### ■コロナ禍の国際取引における具体的なリスクと現状



#### (1) 運賃の高騰と物流の遅延

ご存じのとおり、国際物流においてはコンテナ不足や港湾作業の遅延等の複数の要因が相ま

つて、大幅な物流遅延と運賃の高騰が発生しています。例えば、コロナ禍の影響が出始める直前である2020年1月と2021年10月における40フィートコンテナの運賃を比較すると、横浜・NY間では2,540USDから13,810USDと5.4倍に、横浜・ロッテルダム間では2,740USDから10,990USDと約4倍に、横浜・香港間でも890USDから1,890USDへと約2.1倍に増加しています。

また、運賃高騰のみならず、納品遅延も大きな問題となっています。2021年後半においては、例えばアムステルダムでは通常のリードタイムより3か月程度長い期間がかかっているとの報告もあり、広州や上海から日本への物流も10日程度の遅れが生じており、これが慢性化しているとの報告もあります（いずれも、日本貿易振興機構2021年10月18日付レポートによる）。

このような状況において、当初想定していなかった納品の遅れについて、売主側が責任を負うのか、不可抗力として売主は責任を負わない（ということは、買主がその負担を甘受しなければならない）のか、取り決めが判然とせず、トラブルに発展する事象が増加しています。また、運賃についても、当初取り決めた価格は取り決め当時の運賃相場を前提とするものであるところ、その後の予想外の運賃の上昇をどちらが負担するのかについても、話し合いがつかずにトラブルに発展する事例が増えています。

#### (2) 検品ができないことによる品質確保の困難化

これらに加えて、例えば日本企業が中国やベトナム等の外国から購入したり、製造委託をしている商品について、日本の担当者が現地へ赴いて品質管理を行ったり、検品を行うことができない結果、予想外の不良品などが「納品」されるケースが増えています。

例えば、日本で一時枯渇して価格が高騰した「マスク」についても、サンプルは良品であったもの



の、実際の納品時には、装着するゴムの紐部分のマスク本体への接着場所が誤っており、到底使用に堪えないものが納品された例もありました。

また、別のケースでは、衛生用の手袋が納品されたものの、染色の色むらが大きく、到底「良品」として販売することができないものであった、という事例もあります。

当事務所でも、拠点のある中国やベトナムにおいては、コロナ禍の期間中、日本企業の依頼によって当事務所の弁護士が現地工場や倉庫に赴き、検品や品質不良等に対する交渉を代行することが多くありました。

### ■契約条項の整備と事前予防の必要性

#### (1) 仕様や品質の特定

国際契約においては、例えば梱包段ボールはつぶれていても内容に問題がなければ検品基準に合格するのか、色ムラや固体の製造ムラはどの程度まで許容されるのかといったような、細かい基準や仕様まで、しっかりと特定しておく必要があります。そうでないと、互いに商慣習や常識の違う者同士の取引であるため、「この程度は通常は許容範囲」とされる範囲が実は共有されていなかったため、トラブルを招いてしまうことがあります。

さらに、代金の支払いについても、現品を確認するまでは前金を支払わないか最低限の支払いにとどめておく、といったリスクヘッジを検討することも重要です。

また、現地における代理人などを選定しておき、国境を超える移動が制限される現状においても、なお、リアルタイムで効果的な品質管理や検品ができるスキームを整えておくことが望ましいと言えます。

#### (2) 「不可抗力免責」に関する条項

通常の契約書では、天災地変等の「当事者の合理的なコントロールが及ばない事項」については、免責される（売主は、不可抗力による履行不能や履行遅滞について責任を負わない）としているのが一般的です。

しかし、コロナ禍による直接的な政府の命令で工場が閉鎖された、といった場合であればともかく、「自粛要請」による「操業自粛」が不可抗力となるのか、あるいは、物流の遅延が発生していると言っても、運賃を相場の2倍払えば優先的に輸送してもらえるとした場合に、これを「不可抗力によ

る履行不能、遅滞」に該当すると言えるのか、といったような点は、必ずしも明確とは言えず、不可抗力免責の範囲を巡ってトラブルが発生しています。

また、今回のコロナ禍に関しては、2020年1月20日付で、中国国家衛生健康委員会が、中国伝染病防止法の乙類伝染病に該当することを宣言しているため、その後に締結された契約や発注された個別契約に関しては、すでに「コロナ禍が存在すること」を前提として締結されたとも言えます。このため、これらの契約においては、必ずしも「コロナ禍」というだけでは、不可抗力免責の対象とはならないと判断される可能性もあります。

実際にも、前回のパンデミックである「SARS」に関して、2005年の中国国際経済貿易仲裁委員会(CIETAC)の仲裁判断で、「SARS発生から2か月後に契約を締結していることから、支障が発生することは予見できた」ことなどを理由に、CISG(ウィーン売買条約)79条による不可抗力免責を認めない仲裁判断がなされた事例もあります。類似の判断は多く、1996年のブルガリアにおける国際仲裁でも、ウクライナ政府の石炭禁輸措置を理由とする債務不履行が「不可抗力」にあたるかが判断された事例で、売買契約時にはすでにウクライナ政府による禁輸措置が施行されていたことから、不可抗力免責の主張を認めなかった事例もあります。

一方、今回のコロナ禍では、明らかにコロナ禍に起因するものではない履行遅滞などについても、安易に「コロナ禍」という言い訳をされる例も増えています。これらに対応するためには、不可抗力免責については、これを主張する者にそのエビデンスを添えて速やかに相手方当事者に報告する義務を負わせるなどの工夫も必要です。

このような観点からは、これまであまり注目することのなかった、「不可抗力」に関する条項も、しっかりとコロナ禍の時代に対応できるよう、整備しておく必要があると言えます。

### ■今後の国際貿易におけるリスクヘッジ

このように、コロナ禍は、新たなリスクを私たちの眼前に提示していると言えます。これらを適切にコントロールし、対処していくためには、契約スキームの作り方や契約書の文言などについて、これまでと異なった角度からの事前検証と準備を、しっかりと行っておくことが不可欠であると言えるでしょう。



#### 《寄稿者》

田中 雅敏 氏  
明倫国際法律事務所  
代表弁護士



昨年11月の毎週金曜日、5日、12日、19日、26日の4回に渡る福貿グローバル塾シリーズ企画として、「現地から聞く海外情勢」と題し、ミャンマー・タイ・マレーシア・中国のアジア4ヵ国に駐在する方々に、現地から生の情報を直接お届けする連続セミナーを開催しました。この4ヵ国はいずれも歴史的にも経済的にも日本との関係が深く、ビジネスマンなら誰しもその実情を知りたいが国々だと言っても過言ではないでしょう。長きにわたる新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大によって、人の往来が制限されてしまい情報収集にも支障をきたす中、このセミナーの開催が、皆さまに有益な情報を提供できる貴重な機会となったのではないかと自負しています。

初回の11月5日は「ミャンマー最新現地情報と日系企業動向」と題し、主要都市ヤンゴンを拠点に事業展開されている(株)ジェイサット代表取締役の西垣様にご登場いただきました。昨年2月の政変時は、日本でも繰り返し報道されましたが、そこから思い浮かべるミャンマー像と現実とのギャップがいかに大きいか、日系企業が現地でのように対応しているのか、ミャンマーでのコロナ禍の状況などについてお話いただきました。

2回目の11月12日は「最新のタイ現地情報と日系企業への影響」というタイトルで、パーソナル

コンサルタント代表取締役の小田原様にタイからご登場いただき、コロナ禍の前と後における日系企業のタイ進出動向の違いなどについて、労働需要の観点から踏まえながら具体例を交えてお話いただきました。

3回目の11月19日は「マレーシア経済概況」と題し、福岡商工会議所から派遣されているマレーシア日本人商工会議所事務局長の田中様に、マレーシアからご登場いただき、国の歴史や政治体制から説き起こしながらマレーシアの現状を解説いただくとともに、日本企業が海外展開の際の心構えなどについて熱く語っていただきました。

最終回の11月26日は「友好都市・広州から見える中国市場」と題し、福岡市役所から派遣されている奥田様に、中国・広州市からご登場いただき、今後も成長が見込まれる中国との付き合い方などについてお話いただきました。昨今の日本での中国に対するマイナスイメージに引きずられ、千載一遇とも言える現在のチャンスを逃すことのないよう訴えかけていました。

ご登場いただいた皆さまはそれぞれの国で実際にご活躍の方ばかりですので、話の内容が非常に具体的で説得力があり、視聴された方々にもきつとご満足いただけたのではないかと思います。



(株)ジェイサット  
代表取締役  
西垣氏



パーソナルコンサルタント  
代表取締役  
小田原氏



マレーシア日本人商工会議所  
事務局長  
田中氏



福岡市総務企画局  
国際交流課主査  
奥田氏

## 新会員の紹介

### 大阪鋼管株式会社

代表者：代表取締役社長 坂根 毅  
所在地：長崎県佐世保市針尾北町813番地1  
TEL：0956-58-5611 FAX：0956-58-5641  
MAIL：honjou@osaka-kokan.co.jp  
URL：http://www.osaka-kokan.co.jp/  
主要業務：  
佐世保市で「冷間引抜鋼管」という寸法精度の良い鋼管を短納期で製造しています。また、他社製造の鋼管の仕入・販売（商事活動）も車の両輪として行っています。大正10年に大阪で創業し（戦後佐世保に移設）、お蔭様で本年7月に創立100周年を迎えることができました。

### 当社の特色：

“熱交換チューブ”に注力しています。これは従来型の火力発電所のみならず近未来の水素ガス・アンモニアガス発電において、熱変換効率を高める為に不可欠な廃熱回収の役割を担います。特に、内面や外面にヒレを設けた異形管が得意で、表面積を2倍以上に増やし熱伝達効率を高めることで、SDGsに合致しCO<sub>2</sub>削減に貢献します。本年4月にAsian Promotion部を設立し、海外（特にASEAN諸国）への輸出拡販を目指しています。



### 株式会社ハッピートラベル

代表者：代表取締役 瀧 良太  
所在地：福岡市博多区博多駅前1-31-17 TOHOビル11階  
TEL：092-483-1177 FAX：092-483-1185  
MAIL：info@happytravel.jp  
URL：https://happytravel.jp  
主要業務：  
旅行業務（国内&海外）、ビザ代理申請（中国、ベトナム、カンボジア、インドネシア、韓国、台湾、インド等）、認証代行業務（外務省認証、領事館認証）、保険業務

### 当社の特色：

2010年創業したまだまだ新しい会社です。弊社理念としてお客様の笑顔、喜び、安心をあたえられる仕事を常に考えております。弊社では、介護ヘルパー2級の資格者4名在籍しアクセシブルツアーに対応。九州で初の犬と一緒に貸し切りバスに乗りする「はっぴーだワンツアー」などの旅行も販売しております。また、アフターコロナを見据え社員も12名から18名に増員しており、経験豊富なベテラン社員から、フレッシュな社員まで笑顔で皆様に対応いたします。



### 株式会社アスマーク



代表者：代表取締役 町田 正一  
所在地：【本社】  
東京都渋谷区東1-32-12 渋谷プロパティータワー4F  
【福岡事業所】  
福岡市中央区大名1-8-10 福岡安藤ハザマビル6F  
TEL：050-5306-7274 FAX：092-406-6282  
MAIL：info@asmarqu.co.jp  
URL：https://www.asmarq.co.jp/  
主要業務：  
・市場調査（国内・海外） ・HR Techサービス  
・RPA導入・運用支援 ・労働者派遣事業（許可番号派13-311841）  
・アンケートモニター募集サイト「D STYLE WEB」の運営・管理  
・買った人・使った人の評価サイト「シェアビュー」の運営・管理

・外国人市場調査業務「e-gaikokujin.Recruiting」の運営・管理

### 当社の特色：

私たちアスマークはグループインタビューや会場調査などのモニターリクルートを得意とし、インターネットを通じてリサーチ事業を展開しています。当社の最大の特徴は、リサーチを行う上で座談会などの参加者の募集やアンケート収集にインターネットを最大限に活用していること。特にモニターリクルートというアンケート収集におけるサンプル募集に強みがあり、約93万人の登録会員を有することでお客様からの要望に応えられる精度の高いリサーチを行うことが可能です。今後もさらなる事業の発展と組織の拡充をはかりながら、質の高いリサーチサービスを提供してまいります。

### 株式会社セキュアサイクル

代表者：代表取締役 服部 祐一  
所在地：北九州市若松区ひびきの北8-1  
技術開発交流センター  
TEL・FAX：093-701-6735  
MAIL：info@secure-cycle.co.jp  
URL：https://secure-cycle.co.jp  
主要業務：  
・情報セキュリティに関する各種診断・対応  
・情報セキュリティに関するセミナー  
・情報セキュリティに関するコンサルティング  
・システム開発  
・システム開発に関するセミナー  
・システム開発に関するコンサルティング

### 当社の特色：

株式会社セキュアサイクルは「システム開発におけるセキュリティ対策を当たり前のものに」の理念のもと、システム開発においては、開発後の脆弱性診断だけを行って安心するのではなく、設計の段階からセキュリティを考慮して設計を行い、開発の途中においてもセキュリティのチェックを行うことが重要だと考えています。システム開発事業においてもそれらの実現ができるような仕組みを構築するために日々研鑽を積んでいます。



### 株式会社マルタイ

代表者：代表取締役社長 見藤 史朗  
所在地：福岡市西区今宿青木1042番地1  
TEL：092-807-0711 FAX：092-807-0716  
MAIL：info@marutai.co.jp  
URL：http://www.marutai.co.jp/  
主要業務：  
・めん類及び調味料並びに菓子の製造

### 当社の特色：

当社は、棒ラーメン・皿うどんのトップメーカーとして、また豚骨ラーメンのバイオンアとして、皆さまに愛される商品作りに邁進しております。私たちは、まだまだ未知なる分野が広がる即席めんの魅力ある、「味」の可能性を日々追求しつづけることで、社会貢献を果たしたいと考えております。また、九州の企業として、今後も九州にこだわった商品を提供してまいります。



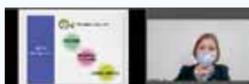


# 福岡貿易会 セミナー開催報告

## 初めての海外販売戦略・海外向け展示商談会活用編（オンライン開催）全5回

<日 時> 令和3年8月19日～9月16日 毎週木曜日 14：00～15：00

- <内 容> 第1回「展示会活用で日本にいながら海外営業を始めよう」  
講師：石川 ゆき氏（坂田貿易支援事務所代表）
- 第2回「海外向け展示商談会参加メリットと効果を最大限に出す方法」  
講師：FOODEX JAPAN 事務局  
「出展経験者から聞く① 西福製茶の海外販売戦略」  
講師：西 宏史氏（西福製茶(株)代表取締役）
- 第3回「出展効果を最大化するために必ずやるべき事前準備」  
講師：石川 ゆき氏（坂田貿易支援事務所代表）
- 第4回「展示ブースアレンジとパッケージデザイン」  
講師：TUNAG(株) 代表取締役 本 まなみ氏  
「出展経験者から聞く② 鶴味噌醸造の海外販売戦略」  
講師：鶴味噌醸造(株) 統括本部長 前原 修氏
- 第5回「展示会中にやること、展示会後にやること」  
講師：石川 ゆき氏（坂田貿易支援事務所代表）



### 参加者のことば

- 効果最大化に向けてのお話は、展示会だけでなく別のマーケットでも活用できる有益な情報だった。
- 戦略、戦術の上流から、当日の準備物品に至るまで幅広くお話を伺えてよかった。

## 外航貨物海上保険セミナー（オンライン開催）

<日 時> 令和3年9月8日（水）14：00～16：00

- <内 容> 第1部「外航貨物保険の基礎」  
講師：秋葉 治伸氏  
（三井住友海上火災保険(株)福岡支店 法人営業第三課課長）
- 第2部「事故発生時の手続き」  
講師：鈴木 彩花氏  
（三井住友海上火災保険(株)グローバル損害サポート部）



### 参加者のことば

- 実務経験者には改めて意識の見直しができ、初心者にとっては判りやすい内容でした。

## 貿易実務講座入門編（オンライン開催）

<日 時> 令和3年10月13日（水）9：30～16：00

- <講 師> 中矢 一虎氏（国際法務株式会社 代表取締役）
- <内 容> 日本のEPA・FTA、貿易交渉の基本五条件、貿易条件とインコタームズ、基本的な輸出入の流れ 等

### 参加者のことば

- 学ぶ範囲が広い貿易実務の入門編として、要点を押さえた大変分かり易い講座だった。

## 貿易実務に役立つ通関知識基礎講座（オンライン開催）

<日 時> 令和3年10月14日（木）9：30～16：00

- <講 師> 中矢 一虎氏（国際法務株式会社 代表取締役）
- <内 容> EPA原産地規則、新しい日本の通関システムとATAカルネ、等

### 参加者のことば

- 様々な事例を織り交ぜた説明が大変分かりやすく、貴重だと思いました。



## 最近の米中情勢と日本企業の動向について（オンライン開催）

<日 時> 令和3年10月22日（金）14：00～15：30

- <内 容> 第一部：「最近の米中情勢と日本企業の動向について」  
講師：岡 豊樹氏（日中投資促進機構 事務局長）
- 第二部：パネルディスカッション  
「今後の日米中情勢について」  
パネリスト：岡 豊樹氏（日中投資促進機構 事務局長）  
奥田 聖氏（福岡市総務企画局国際部主査）  
モデレータ：平塚 伸也（(公社)福岡貿易会 専務理事）



### 参加者のことば

- 当社取引先も多くが中国から多くの商品を輸入しており、共通する問題への理解が深められた。
- 現地の生の声を聴くことができ、大変参考になりました。

## サイバーセキュリティセミナー（オンライン開催）

<日 時> 令和3年10月28日（金）14：00～16：30

- <内 容> 「サイバー犯罪の現状と対策」  
講師：福本 正義氏（福岡県警察サイバー犯罪対策課）  
「ビジネスに必要なサイバーセキュリティの要素」  
講師：小出 洋氏（九州大学大学院システム情報科学研究所）  
「サイバーセキュリティの各国法規制」  
講師：寺門 峻佑氏（TMI総合法律事務所パートナー）  
「コロナ禍の中で中国子会社を含めたテレワークとセキュリティ運用」  
講師：斎数 真人氏（(株)クロスポイントソリューション）  
「中小企業が海外ビジネスで押さえておくべきサイバーセキュリティのポイント」  
講師：関原 優氏（三井物産セキュアディレクション(株)）



## 貿易実務経験者のための食品輸入セミナー（オンライン開催）

<日 時> 令和3年11月17日（水）14：00～15：30

- <内 容> 第1部「食品等輸入時の検査について」  
講師：土井 良一氏（福岡検疫所 食品監視課輸入食品相談室長）
- 第2部「合成樹脂（プラスチック）の器具・容器包装規格検査について」  
講師：但馬 吉保氏（(一財)食品環境検査協会福岡事業所所長）



### 参加者のことば

- 事前に質問していた内容に関して丁寧にご説明頂き、理解が深まりました。
- 検査に必要なサンプル数や金額を具体的に例示していただき大変参考になりました。

## 貿易実務英文ビジネスEメール【基礎編】（オンライン開催）

<日 時> 令和3年12月2日・9日（木）13：30～16：30

- <講 師> 峯 愛氏（みね事務所 代表）
- <内 容> 貿易基本取引に沿った英文ライティング演習

### 参加者のことば

- すぐに海外向けのやり取りで使用出来る実践的な講義だった。



## <夜間語学講座>

### ビジネス英会話講座初級編

<日 時> 令和3年7月29日～11月11日

毎週水曜日 19：00～20：30 全14回

<会 場> 福岡貿易会事務局 ※緊急事態宣言発令中はオンライン

<講 師> Mr. Anthony Seymour

### 参加者のことば

- 途中からオンラインになったが、オンラインも充実した授業だったと思う。
- トニー先生のやさしい説明と質問しやすい雰囲気のお陰で理解しながら受講できた。



## 2年目のビジネス中国語会話（後期）（オンライン開催）

<日 時> 令和3年9月1日～12月15日

毎週水曜日 19：30～21：00 全15回

<講 師> 蔣 晶氏（北京・ニーハオ中国語センター 代表）

### 参加者のことば

- 毎回の授業での笑いが絶えず、本当に心から楽しむことができた。
- 少人数で発言の回数も多く内容の濃い90分間でした。オンラインで海外から参加できて本当に良かったです。



## ビジネス中国語会話実践編（後期）（オンライン開催）※継続中

<日 時> 令和3年10月13日～令和4年2月16日

毎週水曜日 19：15～20：45 全15回

<講 師> 李 岩氏（中国語教室一語学EIWA 代表）



# 第78回 福岡貿易会ゴルフコンペ

令和3年10月20日(水)、朝から広がっていた曇天から遂に降り出した雨模様の下、第78回福岡貿易会ゴルフコンペを伝統ある芥屋ゴルフ倶楽部にて開催致しました。総勢50名の会員の方々にご参加いただき、悪天候にもかかわらず盛況のうちに無事終了することができました。事務局一同、心よりお礼申し上げます。

幸いにも1時間ほどで雨は上がり、雨を含んでやや重くなった芝生に悪戦苦闘しながらも、打ちっ放しの練習場とは違う自然の爽快感や、参加された会員同士の和やかな交流など、いつもと違う楽しいひと時をお過ごしいただけたのではないのでしょうか。

開催に当たっては、多数の会員様から景品のご提供を賜りましたおかげで、いつになく絶好調だった方々はもちろんのこと、幸運の女神に見放された方々にも、全員に賞品をお持ち帰りいただくことができました。ご提供下さいました皆さまに、この場を借りてお礼申し上げます。

次回は4月頃に開催を予定しておりますので、お誘いあわせの上、奮ってご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。



< 第78回福貿会ゴルフコンペ成績表 (Half) >

前半順位	氏名	GROSS	HDCP	NET
1	重村 篤志	47	12.0	35.0
2	平塚 伸也	45	9.6	35.4
3	大野 雅由	44	8.4	35.6

## 福岡貿易会からのお知らせ

### 今後開催予定のセミナー

※予定につき変更の場合があります。会員以外の方の受講も可能です。

#### ○ SDGsセミナー

【日 時】 令和4年2月7日(月) 14:00～15:30  
【会 場】 オンラインセミナー  
【講 師】 ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン(株)  
【受講料】 無料

#### ○ 海外与信管理入門&貿易保険セミナー

【日 時】 令和4年2月18日(金) 14:00～16:00  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMミーティング)  
【講 師】 (株)クレディセイフ企業情報  
代表取締役 牧野 和彦 氏  
(株)日本貿易保険 大阪支店営業グループ  
【受講料】 無料

#### ○ 第29回福貿ビジネスラボ

「ブローケンで何が悪い?北米グローバル企業元日本法人社長が教える英語上達術」  
【日 時】 令和4年2月21日(月) 18:30～19:45  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMミーティング)  
【講 師】 4PSDエイジェンシー 山口 義嗣 氏  
【受講料】 無料 ※会員限定

#### ○ 外国為替と貿易取引セミナー

【日 時】 令和4年3月11日(金) 9:30～16:30  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMミーティング)  
【講 師】 (株)アースリンク 代表取締役 曾我 しのぶ 氏  
【受講料】 福岡貿易会会員: ¥5,000 / 一般: ¥10,000

#### ○ 税関セミナー

【日 時】 令和4年3月17日(木) 14:00～16:30  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMミーティング)  
【内 容】 最近の税関行政について  
門司税関博多税関支署 支署長 山口 京子 氏  
令和4年度関税改正の概要について  
門司税関博多税関支署 統括審査官(通関総括部門)  
RCEPについて  
門司税関業務部 原産地調査官  
【受講料】 無料

- 発行/ 公益社団法人 福岡貿易会  
☎812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号7階  
☎ 092 (452) 0707 FAX 092 (452) 0700
- 発行日/令和4年1月15日 ●印刷/ (株)西日本高速印刷

